

“ガーデンシティくさつ”の実現に向けた市民ワークショップ

(報告)

1. 実施概要

日 時：平成 29 年 12 月 2 日 (土) 15:00~17:00

場 所：アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK)

参加者：24名

2. ワールドカフェ

次の3つの問いを起点として、参加者同士での会話を楽しんで頂きました（それぞれ、の問いに対して20分間）

- ① “健幸”につながるガーデニングが広がり、花と緑いっぱいのまちなみに彩られた「ガーデンシティくさつ」の実現のため、どんなことが必要だと思いますか。
- ② 「ガーデンシティくさつ」の実現に「活用できる」「相乗効果が期待できる」草津市の資源にはどのようなものがありますか。
そうした資源を活用した取り組みとして、どういったことが考えられますか。
- ③ 「ガーデンシティくさつ」の実現に向けて、あなたは/仲間と一緒に、どんなことができますか。

会話終了後、ハーベスト（収穫）の時間として、以下の2点について、回答を集めて発表して頂き、参加者全員で共有しました。

○ あなたが思う「ガーデンシティくさつ」のイメージはどのようなものですか。

○ その実現に向けて「あなた」はどんなことをしていけますか。



3. ハーベストの内容

(1) 「ガーデンシティくさつ」のイメージ

[花いっぱいのもちなみ]

- 多くの人々が参加して達成感が得られるような花壇があちらこちらにあるイメージ。
- 市内が花いっぱいになる（市民が興味を持って実行する）
- 歩道や公園、河川敷が花いっぱいのまち。
- 商店街に花道を作りたい。空間を利用して植えたい。
- ①休耕田が「ひまわり畑」 ②街中の窓にハイキングバスケット ③「ホテルの川」にベンチと案内板 ④道路脇の植樹下にも「お花」
- 市民が気軽に自主的にガーデニングや花・緑など自然にふれあえる、楽しめるまちづくり。
- 地区の人や、知り合いのグループ、みずの森、園芸店等がそれぞれ各自のプランターなどを置いて花を観たり、休憩できる場所をイメージします。
- 花や緑のたくさんある街で草津に来ないと見られない街並。
- まずは人々の目に付くところから花や緑で飾る。 →変わったと認識してもらおう。
- 緑があふれていて、住まわれている市民の方々が自然が多いとあっていただけるようなまち。その自然に感化されて、マンションから少し外に出てみようと思わせ、歩く人が増えていくようなまち。
- 散歩途中でちょっと立ち止まって休める場所に花がある。
- 人がつながる。町内の花壇があり、花道の回廊があり、色や種類などテーマを持ったり、楽しみながら飾る。公園なども。自転車やバスで巡ってもらおう！

[魅力ある都市イメージとなるもの]

- 街中に花があふれたまち。自分たちのまちを紹介する時に 1 番にガーデンシティが出てくる。
- 市民にとっても安らぎ、生活に張りのある場所であると共に、市外の市民にとっては住んでみたい・暮らしてみたいまち。
- 他都市でいえば、神戸、芦屋などの緑に囲まれた都市。反対のイメージは大阪（ゴミゴミしている） 先ずは、ごみの無い清潔な町、安全、安心。

[地域のふれあい・交流につながるもの]

- 年齢を超えて住んでいるところを離れて、皆が思い思いに付き合える街（場所）
- お年寄り、幼児、子ども、若者全世代が、緑と生き物にふれあい楽しんでいる。
- ガーデニング（ガーデンシティくさつ）は、地域をつなげるアイテムである。様々な人が関われる。
- どのレベルの、どんなまちづくりを目指すのかイメージの共有が必要。まちは変わっていくもの、いろんな議論ができて育てていけるもの。

[環境共生の心を育むもの]

- 自然を共有する「虫」がいて大変でも、それが自然だと感じる事ができる。
- 自然に興味を持つ市民が増えること。
- 自然の素晴らしさを教えてくれるまち。

(2) 「ガーデンシティくさつ」の実現に向けて、わたしにできること

[身近なことから]

- ガーディングの楽しさを周りの人に伝える。
- 日々の水やり、日々の世話。

[仲間づくり]

- 町内から草津全体へ広がるように、住んでいる町内に多くの人たちで花いっぱい植え運動を展開する。
- 庭先でも、川の堤にでも作っていきたい。葉山川で何ができるのか（地域の人と）
- プランターを一緒に作ることでできる仲間を探したい。
- 自然とのふれあいの中、仲間とどのように進めていけばいいのか、みんなと話し合いたい。
- 若者に草津での動きを知ってもらい参加してもらおう。
- 色んな特技、専門性ある人たちとつながりを持つ事で輪を広げる。
- 現役時代の経験と人脈を活かす。
- 自分はその一員として関わる。
- いろいろな人と交流できる場に積極的に参加する。
- ①ストーリーづくり(プロデュース・コーディネート) ②人のつながり作り ③アウトリーチの手伝い
- 地域と地域、行政と市民など、ハブの役割(しんどいけど……。)先進事例の紹介など。
- 活動の場、交流の場の提供および参加。

[団体活動を通じて]

- 「グラッシー」のさらなる展開、地域サロン活動の継続。
- 現在ある資源の有効活用、葉山川、河川敷に花ショウブ、桜並木の植樹。グリーンスポットの回廊インフラサイクリングロード、散歩コースなど、フラワーロードのインフラ。

[環境学習を]

- 虫や魚や泥が触れる場所を子ども達に提供すること。
- 自然に興味を持つ、自然の良さを学ぶ。
- 生き物のつながり、自然の循環を伝えたい。

[まちづくりの動きの中で]

- 一つでも多くの緑を植樹できる環境を補助していく。
- 先ずは、今まで意識していなかった草津市における緑や自然がどれくらいあるのかを観てみる。また、植物を植えられそうな場所を同時に探す。
- 花の道など全体設計的な事に参加できると思います。
- ダンボールコンポストは、生ごみの削減にもなり肥料にもなるので、広報紙に作り方を載せてもらい、広く知らしめる。